

IMAGINE THE FUTURE.

“筑波大学は「新構想大学」と呼ばれ、「開かれた大学」を開学の理念として生まれました。旧来の大学のありかたを反省し、「学際」そして「国際」化への「改革」を掲げた、原点もアイデンティティもここに 있습니다。その後の時代の流れをみれば、この理念の予見したものが、いかに先進的であったかがわかります。学際化、リベラルアーツ教育、産業と学問の連携、国際交流、留学生の受け入れなど、ことごとく時代の求めるところとなりました。私たちは、この理念の先進性、先見性を誇りに思うべきです。

あえていうならば、私たちは「伝統校」「名門校」の称号よりも、新しい、開かれた「先端校」「先進校」の理念を選んだのです。東京高等師範学校、東京教育大学という伝統の誇りはいまでも私たちの内にありますが、東京を離れ筑波に地を得たとき、誓ったものは新しい「改革」と「挑戦」の理念でした。「筑波」とは地名ではなく、その理念の代名詞と思うべきです。改革者は改革をやめず、開拓者は開拓をやめません。つねに、開かれてあること。みずからの改革をつづけ、時代の矢印となること。筑波大学が目指すナンバーワン、オンリーワンとは、最も「未来志向」の大学であること、ではないでしょうか。世界と未来に向けたTSUKUBA CITYの中枢として。医学・体育・芸術もあり、肉体性と感性の領域まで含む人間理解と人材育成を目指す、真の意味での総合大学＝UNIVERSITYとして。筑波大学とは「未来へのフロンランナー」である、と、あらためて確認して、この新しい伝統のバトンを、絶えることなくリレーしていきたいと思います。”

(引用：「本学概要と基本情報：IMAGINE THE FUTURE.」筑波大学HP)



体育スポーツ局長からの メッセージ



人事担当者の皆様へ

筑波大学では、文武両道を極め、スポーツを「する・支える」活動を通して、卒業後も社会で活躍できる人材の育成に努めております。

例えば、国内トップレベルの競技力を育むために、自らの課題を分析し、科学的根拠をもとに改善計画を立て、それを実行し、内省することで新たな課題を見つけていく作業を日々のルーティンとして行なっております。

また、本学の学生アスリートは競技だけでなく、数十から100名以上の組織を率いるチームマネジメントや、スポーツイベントの運営、プロモーション活動といった実社会に通じる活動を、専任教員や民間企業の方々との連携を通して行なっております。

さらに、我々体育スポーツ局では、今年度より学生アスリートに対するさらなる成長支援プログラムとして、「キャリア教育」をテーマとして、学生時代の早い段階から将来を見据え、目的をもって学生生活を送れるような支援を開始致しました。

この度、第4回目を迎える学生アスリートに特化した「Student-Athleteキャリアフェア」では、さらに成長した学生アスリートの姿をお見せできると考えております。過去のイベントでは、このキャリアフェアを通して出会った企業に就職した学生も多数おり、企業の皆様にとっても今後の御社の発展に資する有望な人材獲得の場としてご活用いただけることを願っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

筑波大学体育スポーツ局長
高木英樹

